



# 碧南ロータリークラブ週報

第2806回例会 平成28年12月14日(水)

- 会長 榊原 健
- 幹事 新美 惣英
- 会場監督(SAA) 黒田 泰弘

2016-2017 年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 事務局 碧南商工会議所内  
TEL<0566>41-1100  
ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>  
E-mail: info@hekinan-rc.jp
- 例会場 碧南商工会議所ホール  
〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90  
FAX<0566>48-1100



- 会報委員 杉浦秀延・貝田隆彦・梶川光宏

## ●齊 唱

ロータリーソング「我等の生業」

## ●本日のお弁当

小伴天

## ●本日の卓上花

バラ (オレンジ色)

## 会 長 挨拶

皆さん、こんにちは。先週1週間、職業奉仕活動ご苦労様でございました。先週のクイズの答えですけども、競技は馬場馬術、年齢は71歳、出場された方は法華津寛選手です。リオオリンピックには出場されませんでしたけども、その前のロンドンオリンピックには出場されております。71歳まで世界の第一



榊原 健会長

線で活躍するというのは、大変なことだと思いますし、普段の努力も物凄くされていると思います。

年末になりますと色々な所で今年の重大ニュースなどが取り上げられます。スポーツの世界でもあると思いますけども、私における今年のスポーツイベントでの最大の活躍をした選手は、ラグビーのさくらジャパンです。世界選手権で南アフリカに勝利を収めました。過去7回の大会で1勝2分21敗という成績だったのですけども、前回の大会からヘッドコーチにニュージーランドの歴史的な大選手と言われたジョン・カーワンの弟子のエディー・ジョーンズを迎えました。彼が就任しまして最初にしたことは、合宿で朝の5時半起床、6時からウエイトトレーニングを行いました。その練習は日本のスポーツ界におけるものと違って長時間やる訳ではなく、1時間から1時間半の間で休むことなくやったそうです。それでも選手たちはハードワークと答えたそうです。そして今年の世界選手権の第1戦で南アフリカにド

ロップゴールが決まれば 32 対 32 の同点で終われたのですが、残り時間僅かな状況で同点を狙わずに勝ちにいきました。それで最後に奇跡的な逆転トライを決めて 34 対 32 で勝ちました。これに対して日本人はあまり驚きを感じていないようでしたが、ラグビー強豪国においては物凄く衝撃的なことだったそうです。その後の試合でもいい結果を残し、3 勝することができました。過去の大会において、予選で 3 勝して決勝トーナメントに出られなかったのは初めてだったそうです。

サッカーの世界カップの時もですが、観客が自分の座席の近くを掃除して帰ったということで、世界的に日本のサッカーファンはフェアプレー賞を貰ったと言われておりますけども、さくらジャパンはフェアプレーで 1 番だったということでもっとたくさん日本の試合を観たかったという声が多く起こったそうです。そのぐらい日本のチームは頑張ったのですが、特に皆さん方もよくご存知だと思いますが五郎丸選手は 36 点取っております。これは五郎丸選手の体格から考えると天文学的な数字だそうです。日本は体格的にも圧倒的に劣るのですが、スクラムにも負けずに頑張ったということで称賛の嵐が起こっております。やっぱりスポーツは練習なくして勝利なしということを改めて思いました。皆さん方のナンバーワンは何だったのでしょうか。

今週の問題はありません。以上です。

## 幹 事 報 告

幹事報告をさせていただきます。

- ・ 他クラブの例会変更等は幹事報告書の通りでございます。
- ・ 理事会の報告をさせていただきます。皆様のお手元に 60 周年実行委員会組織表が配られていると思います。この原案通り理事会で承認されましたので、よろしく願い申し上げます。
- ・ 第 48 回新春防火たこあげ大会の協賛で 30,000 円を執行することが承認されましたので、よろしく願い申し上げます。
- ・ 第 2720 地区よりロータリー熊本地震総合支援室から熊本地震支援義援金の経過報告が届いております。全国で義援金が 272,734,340 円集まったそうでございます。その執行を中長期的に考えておられて、2720 地区の全 74 クラブで支援プロジェクト立ち上げられて復旧・復興の支援を行うことを決定したというところまでのご報告がございました。プロジェクトが終了次第、報告書を作成し、ご案内をされるということでございます。
- ・ 皆様のお手元の幹事報告書に会員名簿の追加シールが貼られていると思いますので、会員名簿にお貼りください。
- ・ 今週の土曜日の 17 時より衣浦グランドホテルで年忘れ家族会を行います。お間違いの無いようお願い申し上げます。
- ・ 12 月 21 日、28 日の例会はございません。年明けの 1 月 4 日もございません。1 月 11 日からでございますので、よろしく願い申し上げます。



新美惣英幹事

## 委員会報告

### <出席奨励委員会>

総会員数 71 名 (内出席免除者 18 名の内出席者 12 名)出席者 59 名	
出席対象者 59/65 名	出席率 90.77%
欠席者 12 名(病欠者 0 名)	前々回修正出席率 100%

※十週連続出席率 100%の場合は記念品を差し上げます。

### <ニコボックス委員会>

- 加藤 良邦君 } 60周年実行委員会の組織表を配布させていただきます。皆様のご協力を頂きますようお願い申し上げます。
- 長田 豊治君 }  
木村 徳雄君 } 今シーズン初スキーを長野御岳チャオスキー場で初すべりしました。酒がうまかった。温泉も良かった。以上。
- 新美 惣英君 } 普段、左足から履いている靴下を、右足から履いてみたら、ちょっといい事がありました。
- 山口日出子君 } 大変緊張しております。どうぞよろしくお願い致します。
- 山田 昌司君 } 本日は履歴書報告しますが、よろしくお願い致します。

## 卓 話

### 「私の履歴書」

会員 山口日出子君



山口日出子君

皆さん、こんにちは。株式会社山口屋の山口日出子でございます。本日は高い席から誠に僭越ではございますが、「私の履歴書」というお題に沿ってお話させていただきます。どうぞよろしくお願い致します。

今回は3つのテーマに絞ってお話させていただきます。1つ目は私共の会社の経緯について、2つ目は私共の生業である呉服店としての可能性について、そして3つ目は今後の山口屋の方向性についてです。

まずは1つ目の会社の経緯についてです。これについては私共が昨年創業100周年を迎えた時に作成したビデオがございますので、ご覧ください。

ありがとうございました。ビデオの中でもありましたように、大正5年に創業者である山口久次郎がアメリカでのクリーニング業の成功を元手にその娘の山口カギに呉服店を開業させました。その後、私の両親に経営が引き継がれ、昭和47年に株式会社を設立、昭和52年に現在の住所に移転しました。そして、昨年創業100周年を迎えたことを機に私が代表取締役となりました。

私自身は山口屋に勤務するまでは、今の多くの女性と同じく、着物よりも洋服やバッグや

靴などに興味がありました。ですが、山口屋に勤務して毎日着物に触れることで着物の本当の魅力や男女問わず日本人の男らしさや女らしさを自然に表現できる本当に良くできた衣服であることに気付き、今では大切な人と会う時や会合、祝い事には必ずと言っていいほど着物を着ております。もちろん自身が着物を仕事としていることもありますが、「相手を立てる」「印象を良くする」「品格を保つ」という点でも仕事でもプライベートでも着物を着ることは、私の生活の中で大いに役立っております。

2つ目に呉服店の可能性についてお話したいと思います。着物産業は昭和56年が市場規模のピークで1兆6千億円もありましたが、現在は約3千億円と3分の1以下に落ち込み、30年間以上売上げが落ち続けていました。近年は着物自体が若い人の関心が高まり、市場は微々たる中でも回復傾向にはありますが、依然としてニッチな市場であることに変わりなく、また私共のような地方小売店は経営も難しく、毎年全国の着物小売店の5~6%近くが倒産または廃業をしているというのも現実です。その中で山口屋は今日まで続けてこられているのは、ターゲットをハイエンドユーザー向けに絞ったいわゆる「いい物屋」としてのコンセプトを貫いてきたことにあると思います。どの業界でも同じですが、「低価格路線」「一般大衆型」「高級志向型」と分けられると思います。その中で低価格路線や一般大衆型ターゲットはたくさんの売上げを確保するためには客数が必要であり、地方の呉服店が客数を確保するのは非常に困難であることから、山口屋としては高級志向型ターゲットに絞り、顧客との関係をより深く構築しながら着物ファンづくりをしております。

3つ目に山口屋の今後の方向性についてです。先ほどお話した通り、山口屋は高級志向型ターゲットに絞り込んだ経営をしております。今後もその精度をいかに上げていくかが経営上の重要課題と捉えております。一方で、企業の存在価値として重要な地域貢献をどのようにして今後形にしていくかが山口屋の経営者としての使命と捉えております。100年もの間、この碧南の地で商いをさせて頂いたからこそ、碧南地域の活性化に尽力することが山口屋の経営者としても、またこの地で育てて頂いていた私個人としてもこれから絶対的に取り組まねばならない最大の使命であると思っております。

山口屋のコンセプトワードは「心豊かに」ですが、まさに碧南地域の皆様が私も含めてここにいらっしゃる多くの企業の活動によって「心豊かに」過ごせるよう、これからも尽力していきたいと思っております。

どうぞこれからもご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。今日はどうもありがとうございました。

## 会員 山田昌司君

今日は「私の履歴書」ということでアイシン精機新川工場の山田が発表をさせていただきます。

今年の2月に入会バッジを頂いて既に10か月ということで、ロータリークラブとは何なのかなと考えている日々が続いて



山田昌司君

おります。そんな中でこのような機会を頂きましてありがとうございます。

まず自己紹介からさせていただきます。生年月日は1962年7月4日生まれの現在54歳で、家族構成は妻と娘が2人の4人家族です。娘2人は嫁いでおりまして、夫婦2人で生活しております。碧南市の西端の小学校の近くに住んでおります。出身地は岐阜県岐阜市ですが、都会ではなくて長良川沿いの田畑に囲まれた環境で育ちました。高校までは岐阜で育ちまして、高校卒業後、現在のアイシン精機に入社をさせて頂いたのですが、入った1年目が今のアイシンの高等学園というところで、学園生として見習い社員ということで1年間勉強をさせて頂きました。

2年目に正式に配属ということで、アイシン精機の新川工場に配属されました。その当時、新川工場の中に新しく事業を立ち上げるということで、メカトロニクス工場に配属され、私は1年間機械関係の実習しかしていなかったのですが、いきなりメカトロというところに入って戸惑いましたが、色んな事をとにかくこなすということで仕事をやっていた記憶があります。

そうしている間に世の中もエレクトロニクスが発達致しまして、自動車産業においても色んなものが搭載されるようになって、急激に企業としては発達していきました。その中で新川工場は非常に手狭な工場として、急激な成長についていけず、今の半田地区にあります半田電子工場の方に1991年に移管しまして、私もそのタイミングで半田地区に異動となりまして、そちらに15年勤務しましたが、何らかの機会で見習い社員として新川工場に戻ってきまして10年が経ち、会社に入社して計35年経過している状況になります。

会社としてはグローバル化がどんどん進んできて、色々と海外に進出しているのですが、その中で自分も出張という形で海外経験をさせて頂くことができました。

1度目は1997年に電子系の工場をアメリカに立ち上げるということで、サンフランシスコから少し内陸に入りましたストックトンという小さな町で1か月間過ごさせて頂きました。

2度目は2013年にインドの新しい工場を作るということで出張の経験をさせて頂きました。これは3か月間でインドのデリーから少し北に行ったところのロータックという小さな町で過ごさせて頂きました。

海外生活をさせて頂き今に至っている訳ですが、昔は品質関係で物を測ったり、物を確認したりする仕事が多かったのですが、今は部署も変わって工場管理ということで、安全や今企業に求められている環境や人材育成といったところに業務が移行しております。

色々とやってきたとは言っていますが、企業人としては会社に守られてその中の一員としてやってきたので、自己成長という考え方でいきますと非常に難しいなということを思っております。ロータリークラブに入り、皆さんの凄さや色んなことの大切さを痛感しております。今後も視野を広げて色んな分野の見聞ということを進めながら、少しでもそういったものが自分や後輩の為に役立つように頑張っていきたいと思っております。

今後ともご指導の方をよろしくお願い致します。今日は本当にありがとうございました。

## 次回例会案内

平成29年1月18日（水）

クラブフォーラム「株式あれこれ“やってみよう仮想投資”その1」

会員 鈴木基由君（東海東京証券(株)碧南支店 支店長）